

6/23 (土) 野田村・中平遺跡^{なかたい}の現地説明会が行われました

平成 24 年 6 月 23 日、岩手県指定史跡第 1 号となった「野田堅穴住居跡群」に隣接する中平遺跡(野田村)において、村教育委員会主催の発掘調査現地説明会が行われました。

東日本大震災被災者の住宅再建に伴い、調査主体である村教育委員会を岩手県教育委員会が支援する形で調査を実施しています。県教育委員会が支援する「復興に伴う埋蔵文化財調査」において、初めての現地説明会となります。

今回の調査区からは、奈良・平安時代の^{たてあな}堅穴住居跡(家の跡)5棟や生活に使っていた土器類、縄文時代のけものを捕まえるためのおとし穴(わなの跡)11基や土器・石器類などが見つかっています(6/23 現在)。

当日は晴天に恵まれ、地元住民の方をはじめとして、約 130 人の方々に参加いただきました。



説明会には多くの方に参加していただきました。



熱心な方が調査員へ質問しています…。



見学者の皆さんが応援に来ている調査員から、堅穴住居跡についての説明を聞いています。

(左：藤原専門員【北海道派遣】、右：深澤専門員【群馬県派遣】)



中平遺跡出土遺物のいろいろ (左：奈良・平安時代の土器や糸を紡ぐ道具、中・右：縄文時代の土器・石器類)



出土品についても熱心に見ていただきました。



地元の子供たちも参加してくれました。(将来の考古学者かな?)



中平遺跡では地元の小中学生にも発掘体験してもらいました。これをきっかけに地元の歴史に親んでもらえるといいですね。



陸前高田市・堂^{どう}の前^{まえ}貝塚でも発掘調査を行っています

陸前高田市の堂の前貝塚でも、東日本大震災被災者の住宅再建に伴う発掘調査を、調査主体である陸前高田市教育委員会を支援する形で実施しております。

現在のところ、縄文時代の、多くの土器などを捨てた「土器捨て場」跡などが見つかっていきます。

堂の前貝塚の発掘調査は8月まで続く予定です。

編集後記

今回より、復興に伴う埋蔵文化財調査に関する情報をお知らせしていきます。

不定期発行となりますが、少しでも多くの情報をお知らせしていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。



発掘調査の様子

